

(公開の方法)

1. 事務局説明者氏名削除、質問委員名ABCDとし、特定されないようにする。

令和5年 第2回恵庭市文化財保護委員会 資料に対する 各委員からの質問・意見及び事務局よりの回答

(恵庭市文化財保護委員会予定内容)

開催年月日： 令和6年3月28日

出席者： 内田委員、高橋委員、久瀧委員、伊藤委員、土屋委員、白幡委員

(事務局) 狩野教育部長、大嶋教育部次長、高野郷土資料館長

大林資料館担当主査、長町史跡・埋文発掘担当主査

太田埋文事務・総務担当主査

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 挨拶

教育部長挨拶 狩野教育部長挨拶

4. 委員長の選任について

委員長に内田委員を選任

5. 議 題

(1)令和5年度主な事業報告及び経過報告について

・郷土資料館事業について

事務局	<資料説明>
質 疑	
A委員	ボランティアの活用は重要である、ふるさと散歩など市民の希望がマッチングしているのか、今後の体制についてはどうなのか。
事務局	市民の方からのご意見になると直接お伺いするチャンスがなく、こちらがやりたいことをやってきたので、今後は市民のニーズを考えやって行きたい。ボランティアの体制については、昨年の4月に募集をかけていますが、なかなか活動が出来ていない中で市民がボランティアの活動がわからない状況だったのではないかと推察されます。

事務局	市民ニーズの把握については、今年度の最後の方に学芸員による展示解説事業を始めました。目的は、新たな層に学芸員が帯同して郷土資料館に展示してあるものを解説付きで聞いて頂くことを目的としていまして、始めたばかりなので人数はそれほど多くはありませんが、教育支援センターの子供たちが訪れましてかなり好評でした。このようなことからふるさと教育に繋がればよいかなと思っております。また、新たな層に来て頂いて直接学芸員さんも市民と接する機会がありますので、そういうところで市民ニーズの把握に努めたい。
B委員	ボランティアの会の話ですが、新たにボランティアに入った場合には研修はありますか。
事務局	特に研修はありません、先輩ボランティアが教えながらやっています。
B委員	帯広の場合は、1年間の研修を受けさせている。それでないと自分の情報を織り交ぜて説明したり解説することがあるので間違った情報が伝えられる場合があるの研修をやってきて、結構時間がかかるし人手もかかるので大変だと思う。展示解説について最近増えている。函館の函館市北方民族資料館に寄ったら函館市北方民族資料館も始めていた、ウポポイも展示解説はやっていなかったが、来年度から始めてみようと言っている。あちこち増えているのかなと思っている。事業が多いのでみなさん頑張ってもらいたい。
・史跡整備・アイヌ政策・埋文保護関連の主な事業について	
事務局	<資料説明>
C委員	埋文の関係も盛りだくさんで大変ご苦労されているのがわかりました。アイヌ文化見学会事業について、単なる見学会にならないようにと書いてありますが大切なことだと思う。なにか参加された方の反響だとか把握されていますか。
事務局	アンケートを実施しております。また、現地の学芸員に解説して頂くと理解がしやすいとの声を頂いているので今後もそういうところに行きたいと思っております。
A委員	西島松5遺跡の正式名称は何になりますか。
事務局	遺跡名は西島松5遺跡になりまして、おそらく重要文化財としての名称は北海道西島松5遺跡出土品となり、夏ごろに官報が出ますのでそれが正式名称になります。
A委員	カリンバ遺跡にあるサイロについて今後どうなるのか。
事務局	計画では、指定の理由が縄文時代後期からのお墓が指定の理由になっているので昭和のサイロは景観にそぐわないため撤去の予定になっている。
A委員	島松軟石でできており、貴重なものではないか。

事務局	島松軟石であり貴重な物なのは承知している。撤去にも費用がかかる、そういう意見もあるということで検討してまいりたい。
B委員	サイロはどこにあるのですか。
事務局	11ページの見学ポイント③の点の下あたりにあります。
B委員	サイロは原型をとどめていますか。
事務局	崩れかけていますが原型をとどめています。
B委員	由来はわかっていますか。
事務局	昭和時代の地主の方が農家をし家畜を飼っておりサイロとため池があるこということは承知している。
A委員	このサイロ結構古い型だと思い気になったもので。
B委員	ご意見があったということを残しておいてほしい。最低限調査をしておいた方がよいのではないかな。
C委員	史跡を残すということは、遺跡も含めてこれまでの時間の積み重ねを保存することなので、今はもう作ることが出来ない建物なのでそれを含めて残してゆくのは1つの考えかなと思う。
事務局	来年度以降もカリンバ遺跡整備検討委員会が続きますので検討委員会の中で検討して行きたい。
事務局	カリンバ遺跡保存管理上で支障がありそうなのでその時点で撤去になっているが、皆様のご意見を踏まえまして安全・保存の上で残せるかどうか確認をした上で進めてまいりたい。
D委員	旧ため池や水路はどこになりますか。
事務局	旧ため池は、文教大学のそばにあり、水路があり水田に引き込むようになっていいる。
D委員	こここのところの水のあるところは、川の由来のところですか。
事務局	おっしゃるとおりです。
D委員	この水は、流れている水ですか。
事務局	おそらくシミ出ているものです、計測はしていませんが。
C委員	観察会をやっていた。ここは住宅開発があつて河川の流れがなくなった事情がある。

事務局	湧き水があり、水量を調べているが地下水位については、若干減っている、来年度カリンバ委員の中に専門の方がいるので確認して頂きたいと思う。
A委員	植栽については、自然のままですか。
事務局	縄文時代になかった針葉樹の防風林を伐採して、そのかわり住宅街が見えるので目隠しに盛り土し樹木を植える計画です。
B委員	チャシがあるのですね。
事務局	カリンバチャシ跡があります。溝が半分くらい確認されています。チャシであることは間違いないと思います。
B委員	カリンバにつきましても長期計画のイメージ図、短期、長期に分けてという形で今度長期計画の方に施設計画に入っていけばいいなと思います。世界遺産でこの近くの遺跡群が指定されていて、恵庭地区の埋蔵文化財は貴重な資料群になり蕨手刀などほかにこれほどない。文化庁も保存から活用が変わってきており、ぜひ活用して観光とかに結びつけてほしい。
	・文化財防火デー防災訓練について
事務局	<資料説明> 質疑なし (2)令和6年度事業計画について ・事業計画について
事務局	<資料説明>
B委員	事業がすごく多いと思う。
C委員	事業が盛りだくさんだと思う。埋文の方は色々あると思う。郷土資料館の方は、収集や調査研究は出遅れているのではないかな。人数が少ない事業が多いのもあるがもう一度考えて見る必要があると思う。
A委員	年報を年に一回は出して頂きたい。ボランティア育成や西島松5遺跡が重文指定されるので展示も単なる展示ではなく大きな全体の流れを市民に伝える手立てをとって頂く必要がある。
事務局	カリンバ・アイヌは注目されているが、擦文はわかりづらいのでわかりやすい展示に努めて参りたい。
B委員	郷土史における聞き取り調査は重要なものですからぜひ進めてもらいたい。

・史跡整備・アイヌ政策・埋文保護関連の主な事業について

事務局 <資料説明>

B委員 金属製品の保存処理は今後もやっていくことになるのか。

事務局 まだ、必要になるものがあるので順次重要なもの、特にアイヌのお墓から出た副葬品、擦文時代のものなどを重点的に出している。来年度保存処理に出すものは崩壊しかかっている鉄鍋などです。

B委員 保存処理は、文化財の保存のためやっけて行かないとらないのでよろしく願いいたします。また、展示等など活用もお願いしたい。

E委員 サイロの話があつたが産業遺産の資料も保存も必要ではないか。

事務局 恵庭鉦山も産業遺産であるが草で覆われている、館長と相談しながら大事にして行きたい。

D委員 来月 号の広報に西島松5遺跡が重要文化財に指定される答申がなされた件が出るんですね、時期がピッタリでよかったと思う。

C委員 資料館の活動は、一般の人には伝わらない、視点を変えて一般の人にわかりやすい方法を考えて頂いて、資料館に足を運んで頂いて資料館にあるものに興味をもつていただく、派手な物ばかりでなく地味な中でも自分たちの生きている場所はどういう場所なのかわかるようにここに暮らす人たちにとっても良いことがあるのではないか。